

☆目標

古文のリズムを味わい、古典作品についての理解を深めよう。

●課題1： 1～4の 内の古文と〈現代語訳〉をそれぞれ1回ずつ音読しなさい。

1 『竹取物語』

たけとりものがたり

今は昔、竹取の翁といふもの有りけり。野山にまじりて竹を取りつつ、よろづのことに使ひけり。

〈現代語訳〉今となっては昔のことだが、竹取の翁という者がいた。野山に分け入って竹を取っては、いろいろなことに使っていた。
 〈成立年代〉平安時代初期 〈作者〉未詳(「わかっていること」)
 〈作品紹介〉現存する、我が国最古の「物語」。「かみや姫」の名で広く知られる。

2 『土佐日記』

男もすなる日記といふものを、女もしてみむとて、するなり。その年の

師走の二十日あまり一日の日の、戌の時に門出す。

〈現代語訳〉男も書くところの日記といふものを、女も書いてみようと思って、書くのである。ある年の十二月一日の午後八時ごろに館から出発する。
 〈成立年代〉平安時代初期 〈作者〉紀貫之。
 〈作品紹介〉仮名文字で書かれた日記文学。筆者が国司(現在の県知事にあたる)の任務を終えて都に帰るときに記録。作者は男性だが、女性が書いたという形をとっている。

3 『伊勢物語』

昔、男、初冠して、奈良の京、春日の里にしろよして、狩りに往にけり。

〈現代語訳〉昔、男が元服(成人して、奈良の都、春日の里に土地を持っている縁で、狩りに出かけて行った。
 〈成立年代〉平安時代初期 〈作者〉未詳。
 〈作品紹介〉ある男を主人公として、さまざま恋愛を描いた物語。
 和歌を中心とした説話集(短編集)であるため、「歌物語」というジャンルに分類される。

4 『源氏物語』

いづれの御時にか、女御・更衣あまたさぶらひ給ひけるなかに、いとやむごとなき際にはあらぬが、すぐれて時めき給ふありけり。

〈現代語訳〉どの天皇の時代であったか、女御や更衣がたくさんお仕えしておられた中に、それほど高貴な身分ではないが、格別に(帝に)愛されていらつしやる方がいた。
 〈成立年代〉平安時代中期 〈作者〉紫式部。
 〈作品紹介〉貴公子の光源氏を主人公に、彼と関わる多くの女性を登場させた長編物語。
 我が国の物語文学の最高傑作とされる。

裏に続きます。

●課題2：…古典文学に関する次のクイズに答えなさい。(答えは裏面から探しまじょう)

1. 一問一答クイズ

- ① 「竹取物語」は何時代の作品か？ ()
- ② 「土佐日記」の作者はだれ？ ()
- ③ 「土佐日記」はどんな文字で書かれているか？ ()
- ④ 「伊勢物語」のジャンルは何？ ()
- ⑤ 「源氏物語」の作者はだれ？ ()
- ⑥ 「源氏物語」の主人公の名前は？ ()

2. イン트로クイズ

次の⑦～⑩は有名な古典作品の冒頭部分です。作品名を漢字で書きなさい。

⑦
いづれの御時にか、女御・更衣あ
またさぶらひ給ひけるなかに、い
とやむごとなき際にはあらぬが、
すぐれて時めき給ふありけり。

作品名 ()

⑧
昔、男、初冠して、奈良の京、春日の
里にしるよしして、狩りに往にけり。

作品名 ()

⑨
男もすなる日記といふものを、女もし
てみむとて、するなり。その年の師
走の二十日あまり一日の日の、戌の時
に門出す。

作品名 ()

⑩
今は昔、竹取の翁といふもの有りけ
り。野山にまじりて竹を取りつつ、
よろづのことに使ひけり。

作品名 ()